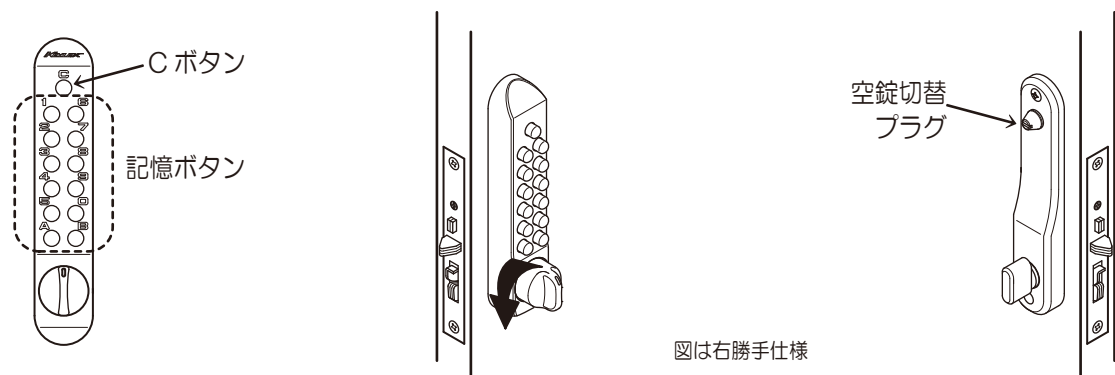


自動施錠から空錠への切替方法

扉を閉めても、施錠しない状態【空錠】にできます。

- ① C ボタンを押し、記憶ボタンを押す。 ② 室外側のロックターンを解錠操作（矢印の方向）にしたままにする。

- ③ 室内側の空錠切替プラグを【Auto Lock】から【Free】にコイン等で回し、切り替える。



図は右勝手仕様

【空錠】から【自動施錠】へは、ロックターンを解錠方向に回したまま、室内側の空錠切替プラグを【Free】から【Auto Lock】へ切り替えます。

記憶番号設定に関するご注意

- キーレックス500は1～12桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は設定できません。
例) 記憶番号 1・2・3 の場合
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1つのボタンにつき設定は1回だけです。（同じボタンを2度押す設定はできません）
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。



注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付時の注意
 - 各部取付ねじの締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。
- 取付ねじのゆるみ
 - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為に定期的に増し締めしてください。
- 受座の飛び出し
 - 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。
- 他の用途への使用
 - ロックターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意（故障の原因となります）
 - 製品の分解、改造はしないでください。
 - テッドラッチ、テッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。
 - ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
 - 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
 - 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。特にボタンまわりは、定期的から拭きし、汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。



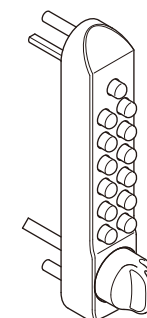
取り付けに異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

KEYLEX 500[®]

キーレックス 500
MIWA (SL80)
シリンダー取替

取扱説明書（施主様向）

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



22271

防犯上、記憶番号の変更を定期的におこなうことと、施錠時に記憶番号以外のボタンを空押しすることをおすすめ致します。

〈記憶番号の記録〉		
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
ただ今の記憶番号		

NAGA
SAWA

www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032
大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092

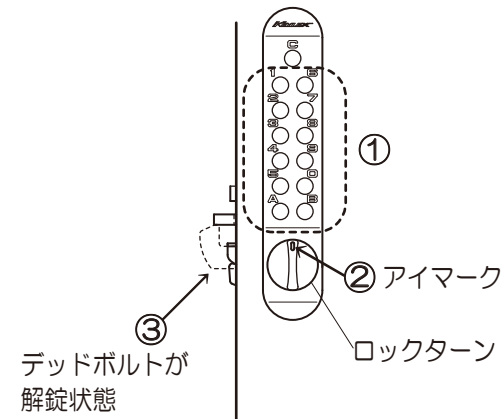
基本操作

シリンダーでの鍵操作が、ボタン操作に変わります。

ご使用前に確認してください。

- ① 登録している記憶番号
- ② ロックターンのアイマークが真上にある
- ③ デッドボルトが解錠状態になっている

※ 図は右勝手仕様です



室内側

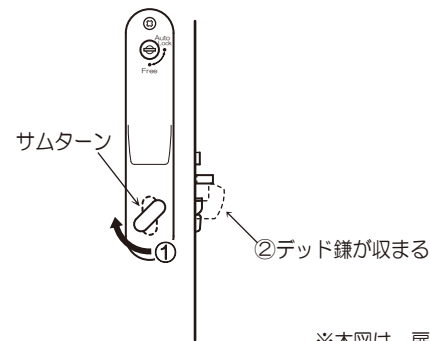
室外側

施錠

扉を閉めれば施錠されます

解錠

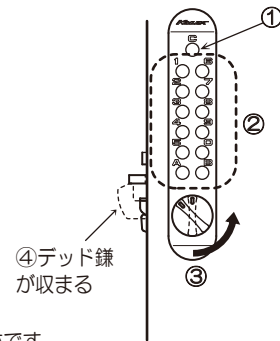
- ① サムターンを回します
- ② デッド鎌が収まることを確認します



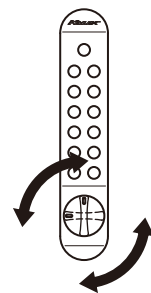
※本図は、扉が右勝手時です。左勝手時は対称です。

解錠

- ① C ボタンを押す：誤操作の記憶番号が解除されます
- ② 正しい記憶番号を押します
- ③ ロックターンを回します
- ④ デッド鎌が収まることを確認します



ロックターンが横向きになっていても故障ではありません。
ロックターンを正常な位置（アイマークは上向き）に戻してご使用ください。

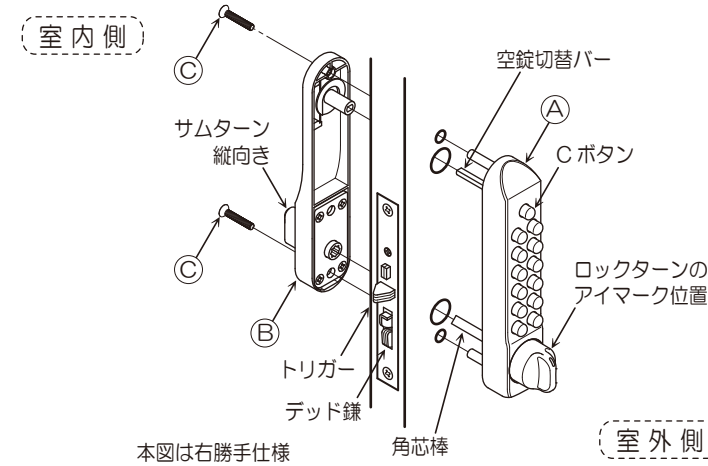


キーレックスは、ロックターン部に過大な力がかかると、内部機構を守る為にロックターン部が空回り（安全装置が作動）するように設計されています。

記憶番号の変更手順 扉は開けたままの状態でおこないます

72750622

【1】キーレックス本体を取り外します 取り外した部材は全て使います。紛失しないようにご注意ください。



- I : ④ キーレックス本体の落下に注意しながら
③ 本体固定ねじ 2本をはずし、⑤ 室内座をはずします。
- II : ④ キーレックス本体をはずします。

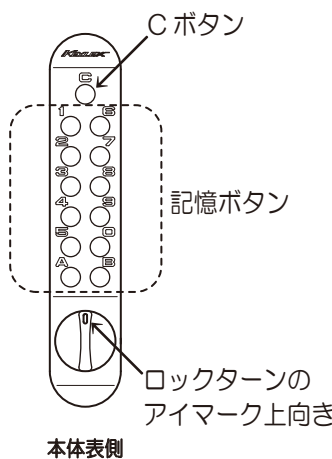
【2】記憶番号の設定変更をします。⚠️ ロックターンのアイマークは常に真上の位置を保ってください。

【記憶番号変更の準備】

- ① 本体表側のCボタンを押します。
- ⚠️ ⑦まで、記憶ボタンは押さないでください。

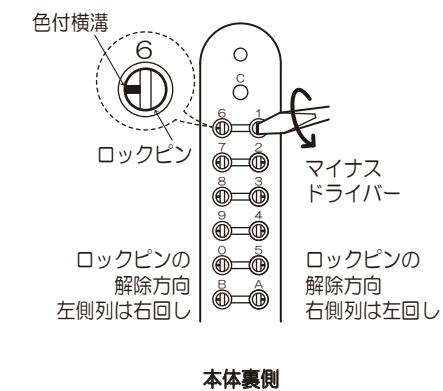
※ C ボタンを押さないと、内部部品が破損する場合があります。必ず押してください。

- ② 本体を裏返します。



【現在の記憶番号を解除】

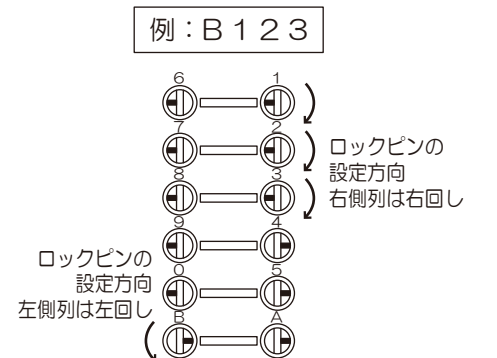
- ③ 本体裏側の、記憶されているロックピンを回転させて記憶されている番号を解除します。（ロックピンの色付横溝を外向きに回転させる）



- ④ 本体を表側にします。Cボタンを押し、ロックターンが動くことを確認します。

【記憶番号の設定】

- ⑤ 新しく記憶させる番号は必ず記録してください。本紙表紙に記入欄があります。
- ⑥ 本体を裏返し、記憶させる番号のロックピン色付横溝を中央ライン側に合わせます。



- ⑦ Cボタン+新しい記憶番号を押し、ロックターンが解錠方向に回ることを確認します。

基本操作 室外側欄を参照します。

【3】本体を取り付けます

【1】と逆の順番で取り付けます。

④ キーレックス本体を取り付ける時は、扉の勝手と角芯棒の向きに注意します（右図参照）。間違っていると、施解錠操作ができません。

左の基本操作に沿って、作動確認をして完了です。正しく作動しない場合は、記憶番号と角芯棒の取り付け向きを確認してください。

